

幅広い住民ニーズに対応 戸籍事務の電算化がスタート

戸籍簿を電算管理し事務処理する「戸籍情報システム」が完成し、11月1日から運用開始しました。

同日の窓口業務開始前に市役所1階ロビーで行われた運用開始式では、松林市長が「新システムが市民の幅広いニーズに応え、より一層の住民サービスの向上につながるものと期待しています」とあいさつ。テープカットが行われた後、松林市長が金崎議長から申請のあった証明書をシステム運用後



初めて発行しました。

長門の魚介類を食材に「食の達人・産地招へい事業」 東京の有名シェフが腕を振るう

首都圏の外食関係者を招き、日本海で獲れる魚介類の良さを実感してもらうことで、地元食材のPRと販路拡大を目指す「食の達人産地招へい事業」が11月1日と2日の両日、湯本のホテルで行われ、湯本温泉旅館関係者や水産関係者など約60人が参加しました。

この事業は、山口県や漁業関係団体などで組織する「水産やまぐちパワーアップ推進協議会」が主催したもので、食の達人として東京の有名フランス料理レストランで活躍するシェフ6人と流通業者2人が招かれました。
シェフらは、2日早朝、仙崎市

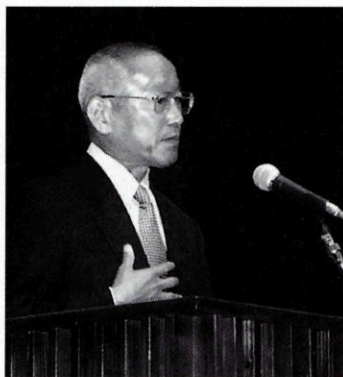


第27回長門市教育研究大会 君原健二さんがマラソン人生を講演

11月2日、第27回長門市教育研究大会がルネッサながとで開催され、市内小・中学校の教職員など約350人が参加しました。

今年の大会は「生きる力を育む学校教育」を研究テーマに、教職員による実践発表や研究物の展示などが行われたほか、メキシコオリンピック銀メダリストの君原健二さんが「ゴール無限」と題し講演を行いました。

君原さんは「小さな向上心を少



しずつ積み重ね、自分自身を成長させることができました」と自らのマラソン人生を語りました。

長門郵便局で 強盗模擬防犯訓練

事件が多発する年末を前に、金融強盗を想定した防犯訓練が11月15日、長門郵便局で行われました。訓練は、長門警察署の職員がヘルメットとジャンパー姿の強盗に扮し、拳銃を持って郵便局に乱入、現金を奪って逃走するという想定で実施されました。



秋の全国火災予防運動 園児が防火パレード

秋の火災予防運動の一環として11月10日、深川幼稚園児145人が正明市地区で防火パレードを行いました。火の用心を呼びかけました。

園児たちは、JA長門大津本所駐車場で鼓笛演奏を披露し「火遊びはしません」という防火の誓いを元氣よく唱和しました。



新潟県中越地震 一日も早い復興を

昨年の地球環境米米フォーラム開催にあたって、前年開催地の事務局だった十日町市に指導・支援を受けたことから、被災地復興に少しでも役立てればと、長門市と大津郡3町、長門大津農協、深川養鶏農協などで組織する「長門地域活性化推進協議会」が10月29日、十日町市に救済物資としてカイロ1万個と鶏卵せんべい40枚入り千袋を発送しました。

同日、長門市議会では、9月に議会運営委員会委員が十日町市を視察に訪れた関係もあり、義援金10万円を十日町市議会議長宛に送りました。

10月31日開催の「ながとふるさとまつり」の会場内に設置した義援金募金箱に多くの善意が集まったとして、11月5日、藤田平二実行委員会会長が市役所を訪れ、日本赤十字社長門地区長の松林市長に集まった義援金（156,624円）を手渡しました。



十日町市への救済物資の積み込み
(10月29日/深川養鶏製菓工場)